

ASIAN AND MIDDLE EASTERN STUDIES TRIPOS, Part IA

Japanese Studies

---

Tuesday 3 June 2014 09.00 – 12.00

---

**J.2 JAPANESE GRAMMAR AND TRANSLATION**

Answer **BOTH** sections and **ALL** questions.

Write your number **not** your name on the cover sheet of **each**  
Answer Book.

**STATIONERY REQUIREMENTS**

20 Page Answer Book x 1  
Rough Work Pad

**SPECIAL REQUIREMENTS**

none

**You may not start to read the questions  
printed on the subsequent pages of this  
question paper until instructed that you may  
do so by the Invigilator.**

## SECTION A

(1) In the Answer Book, write out the following sentences in their entirety filling in the spaces between the brackets with the correct particles or words, which may consist of more than one *kana*. If no particle is needed, mark with an X. Then translate the sentences into **English**: [25 marks]

- (a) あさって[ ]八時[ ]、大手町駅[ ]前[ ]公園[ ]コンサート[ ]あります。
- (b) 先週[ ]土曜日[ ]、ジョンさん[ ]マリーさん[ ]電車[ ]鎌倉[ ]行きました。
- (c) マリーさん[ ]フランス[ ]来た大学生[ ]、二年前[ ]東京大学[ ]日本の文学[ ]研究している。
- (d) 正さん[ ]大事な手紙[ ]日本語[ ]書く[ ]手伝ってもらおう[ ]つもりです。
- (e) 「中国語[ ]日本語[ ]難しい[ ]思いますか？」
- (f) 「さあ、よくわかりません[ ]発音[ ]中国語の[ ]が難しいよう[ ]気[ ]します。」
- (g) 子供の[ ]、魚[ ]好きではなかった[ ]、母[ ]よく「魚を食べる[ ]頭[ ]よく[ ]なる」[ ]言って、私[ ]食べさせよう[ ]した。

- (h) 今日[ ]午前中[ ]忙しい[ ]、午後[ ]三時[ ]六時[ ]の間[ ]来る[ ]林さん[ ]伝えて下さい。
- (i) ジョンさん[ ]病院[ ]ことはよく知っている[ ]とても親切[ ]人[ ]ので、彼[ ]相談[ ]する[ ]が一番[ ]いい[ ]とマリーさん[ ]言っています。

(2) Create full Japanese sentences from the following elements in questions (a) to (g) below. You may use the verbs in any tense or aspect you wish and you may also add further elements. Then translate into **English** the sentences you have produced: [25 marks]

Example:

[Verb+みる]、[東京]

去年東京へ行った時、おすしを食べてみたがおいしくなかった。

When I went to Tokyo last year, I tasted some sushi but I didn't like it.

- (a) [V+過ぎる]、[疲れる]
- (b) [V+がち]、[このごろ]
- (c) [V+しまう]、[いつも]
- (d) [V+ので]、[ちっとも]
- (e) [V+もらう]、[引っ越し]
- (f) [V+ながら]、[宿題]

**(TURN OVER)**

(g) [V+たい]、[来年]

**SECTION B****(3) Translate into English: [25 marks]**

漢字は5世紀から6世紀ごろ、中国から日本に入ってきた。当時、日本には文字というものがなかったが、漢字が紹介されてから、日本語を文字で表すことが出来るようになった。しかし、中国語と日本語は言葉の仕組みがちがう言語なので、漢字を使って日本語を表記するためにさまざまな工夫が必要だった。音読み、訓読みといった読み方や、画数の多い漢字を簡単にしたひらがな、カタカナの発明などが、その例である。

漢字、ひらがな、カタカナ、それにローマ字も含めれば、4種類になる文字を使うことはむずかしそうだが、日本語はそれらを上手に使い分けて表記する。

ところが、漢字の使用に反対する人もいる。江戸時代の終わりから今まで漢字廃止論は何度も提唱されている。漢字の使用に反対する人たちの主張は、漢字は数が多すぎるので覚えるのに時間がかかるというものである。漢字をなくせば、漢字を学習する時間を他のことを学ぶために使うことが出来るというのだ。

それに対して、漢字擁護論者たちは、漢字は表意文字なので便利であると主張する。漢字は読み方が分からなくても、意味が分かれば文章を理解できる。また、意味を組み合わせて自由に新しい言葉を作ることだって出来るというわけだ。

さらに、漢字は日本の伝統であり、昔の人の知恵から生まれたすぐれた文化であるから、守るべきだと考える人も多い。

日本語では、中国で生まれた漢字をおよそ1500年の間、使い続けてきた。その漢字を簡単に廃止することは出来なさそうだ。しかし、漢字を使い続けていくなれば、これからもさまざまな論争が起き続けることだろう。

仕組み	structure
工夫	strategy
音	おん
訓	くん
画	Kanji stroke
廃止する	to abolish
提唱する	to advocate
主張する	to claim, maintain

擁護する	to defend
伝統	tradition
知恵	wisdom

(4) Imagine you are John. Using your own words as far as possible write a diary entry in **Japanese** about your conversation with Tadashi: [25 marks]

「正さん、これは何の本ですか？」  
「ああ、これは日本の文化を紹介している本ですよ」  
「きれいな写真がずいぶんたくさんありますね」  
「そうですね」  
「この着物は色がとても美しくてゴージャスですね」  
「あっはっは。本当にゴージャスですね。これは能の写真ですよ」  
「のう？」  
「ええ、‘のう’です。」  
「歌舞伎じゃないんですか」  
「確かに、歌舞伎も能も役者はみんな男の人で、よく似ていますね。でも、違いますよ。歌舞伎の役者は化粧をしています、能の役者は面をつけます。能は14世紀ごろに始まったそうです」  
「歌舞伎は」  
「江戸時代です」  
「この写真の役者は面をつけていますね」  
「この面は若い女の人を表しています」  
「なんだか、少し笑っているように見えますね。でも、こちらの写真の女の方は泣いているみたいですね。とても不思議な感じですね。実際に一度、見てみたいなあ」  
「僕は中学生のときに見ましたが、能の言葉は今の言葉と違っていて分かりにくくて、つまらないと思ったな。だから、それからは能を見たことがないんです」  
「そうですか。でも僕は見てみたいですね」  
「じゃあ、いっしょに行ってみましょうか？このごろはインターネットで券を予約することが出来るそうだから」  
「それは便利ですね」  
「いつにしましょうか。ジョンさんは、今月は忙しいですか」  
「僕は夕方ならいつでもあいていますけど」  
「マリーさんもいっしょに来てくれたらいいですね。僕より日本の文化や古い物語に詳しいから、きっといろいろと説明してくれるでしょう」

**(TURN OVER)**

「それじゃあ、まず僕がマリーさんの都合を聞いてみます」

歌舞伎 = kabuki

面 = mask

**END OF PAPER**